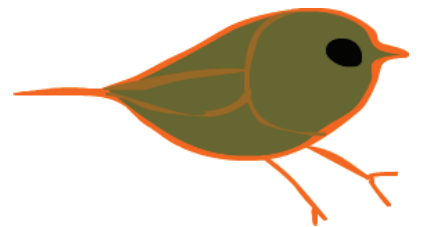


早春賦そうしゅんふ

作曲 中田章
作詞 吉丸一昌

春はるは名なのみの風かぜの寒さむさや
時ときにあらざと声こえも立たてず

谷たにの鶯うぐいすうた歌うたは思おもえど
時ときにあらざと声こえも立たてず



氷こおり融とけ去さり葦あしは角つのぐむ
今きょう日も昨きのう日も雪ゆきの空そら

さては時ときぞと思おもうあやにく
今きょう日も昨きのう日も雪ゆきの空そら

春はると聞きかねば知しらでありしを
いかにせよとのこの頃ごろか

聞きけば急せかるる胸むねの思おもいを
いかにせよとのこの頃ごろか